

「いしかわ創生人口ビジョン」・「いしかわ創生総合戦略」の 推進に向けてのメッセージ

いしかわ創生人口ビジョンにおいては目標を具体的な数字で示していますが、それらを達成するには様々なアクションプランが必要だと思われれます。どれ一つを取っても容易に達成できるものはなさそうですが、それぞれが自分の持分の中で精一杯の努力をする以外にはなさそうです。

ただ、各団体が独自に努力するだけでは不十分で、互いに情報交換をしながら、互いの連携を大切に進めていくことが重要ではないでしょうか。

県が主体となって情報交換の場を設置して頂いて、連携が円滑に進むべく配慮をお願いします。

北陸先端科学技術大学院大学 学長 浅野 哲夫

石川県の戦略である「いしかわ創生総合戦略」と時期を同じくして14市町の総合戦略が策定されました。残る5市町についても策定が予定されています。

今後、県民の皆様方の具体的なお取組みにあたっては、県と各市町の戦略が連動しながら積極的に支援がなされていくものと思います。各地域で立ち上がってくる個々の取組みが点の活動と成果に終わることなく、他者の取組みに、また、地域全体の取組みに波及していくこと、プラスのスパイラルを生み出していくより効果的な取組みになることを心から願っております。

私ども日本政策金融公庫は、地域関係機関の方々と連携し、各地域のプラススパイラルの原動力の一翼を担うべく、政策金融機関としての機能を十二分に発揮しながら、皆様方と共に考え行動していく所存です。

日本政策金融公庫金沢支店 支店長 大屋 英樹

地方創生が国・地方を通じた大きな課題となる中、策定された「いしかわ創生総合戦略」は、北陸新幹線金沢開業という他の地域にはない優位性を前面に掲げた、極めて独創的かつ意欲的なものであり、総合戦略に掲げられた様々な施策が着実に推進されることを期待するものであります。

観光業界に携わる者として、地方創生に向けて観光の果たす役割は極めて重要であることは重々認識しており、本県観光の将来を見据え、県民の皆様方にお支えいただける観光業界を目指し、更に努力を重ねてまいりたいと考えております。

公益社団法人石川県観光連盟 理事長 小田 禎彦

石川県内の商工会地域においても、能登地域を中心に、人口減少、少子・高齢化が急速に進展しており、こうした状況に歯止めをかけるための施策の推進が喫緊の課題となっている。このため、人口減少傾向が著しい地域への「企業誘致・本社機能の誘致」などに積極的に取り組み、「多様な人材を惹きつける魅力ある雇用の場の創出」を図っていただきたい。また、地域の経済を支えているのは、それぞれの地域の中小・小規模事業者であり、地方創生の具現化には、これらの事業者の活性化が必要不可欠である。商工会においては、経営指導能力の向上を図りながら、各地の中小・小規模事業者の経営を積極的にサポートしてまいります。県においては、地場産業の経営の安定化や経営基盤の強化につながる施策、特に経営基盤が脆弱な小規模企業に配慮したきめ細かな支援施策を、引続き、力強く推進くださるようお願い申し上げます。

石川県商工会連合会 会長 田上 好道

北陸新幹線金沢開業という大きなイベントを迎えた 2015 年は最も旬な地域として石川県が日本中の耳目を集めた輝かしい年となりました。
国が掲げている地方創生は、厳しい人口減少シナリオを掲げつつ、地方の実情を踏まえた地域自らの取り組みを支援することを表明しています。
本ビジョンならびに総合戦略には生活・産業両面で多くの優位性を持つ当地石川の魅力や活力をさらに伸ばすための智恵が盛り込まれています。
ターゲットイヤーたる 2019 年までに、県民の皆様がその効果を実感しうる社会を目指す。
そのためには行政の努力はもちろんですが、皆様一人一人が共感と当事者意識をもって望まれることを願います。

株式会社日本政策投資銀行 北陸支店長 古田 善也

列島最後のフロンティアを目指す能登半島。
政治も経済も暮らしに目を輝かせて生活できる、それが石川の創生。
金がなければカワイソウとした時代は終わった。心の豊かさを求めて、時間と食がやさしく流れる暮らし、それが能登。
能登のふる里創生とは、自然と歴史の中でモノを売って利益を求めるのではなく、おだやかな心を求め、心を得る創生としたい。

一般社団法人能登定住・交流機構 代表理事 星野 正光

「活力ある日本社会」の源泉は「地方創生」から始まります。

「いしかわ創生総合戦略」では、地元石川の産業の活性化・成長を見据えて、魅力ある雇用の場の創出、県内就職と移住定住を基本目標の一つとし、企業の中心的・基幹的人材となる高度専門人材やグローバル人材の育成・確保を目指すこととしました。

いしかわ創生の取組みとして、高等教育機関が集積する「学都石川」の魅力をあまねく情報発信し、県内外から多くの学生を呼び込み、石川の産業・文化・自然などのふるさと教育を実践することにより、将来を担う若い世代が石川の地で「地元企業に就職し、定着する」ための体制の強化を図っています。

一般社団法人大学コンソーシアム石川 会長
金沢大学 学長

山崎 光悦

谷本知事のリーダーシップのもと、県庁の各部局と各界を代表する委員のご尽力が相まって、すばらしい「人口ビジョン」と「総合戦略」ができたのではないかと思います。しかし、地方創生のためにはまだスタート地点に立ったばかり、これからが正念場です。幸い石川県は、北陸新幹線効果もあって、他地域を一步も二歩もリードしています。限られた予算のなかで、すべてのプランを実行してゆくのは、多くの困難を伴う事が予想されますが、絵に描いた餅にならぬよう各方面の奮起に期待したいと思います。

連続テレビ小説「まれ」は、暖かい県民の皆さまに見守られながら無事放送を終了いたしました。私どもは、少しでも地域の活性化につながってほしいとの願いのもと、「まれ」を軸に様々な番組やイベントを展開してまいりました。これからも石川県民に喜んでいただけるように、そして地元の活性化・地方創生につながるように、多彩な番組・イベントを中心としたサービスを行ってまいります。引き続き、公共放送に対するご理解とご支援をお願いいたします。

NHK金沢放送局 局長 山元 修治